

## 松嶋夜話 卷之下 10

〔原文〕古徳曰遠離惡友如避毒蛇

〔訓読〕古徳に曰く、惡友を遠く離れること毒蛇を避けるが如きせよ

〔原文〕如何曰

〔訓読〕如何、曰く

〔原文〕佛在世時有善星比丘

〔訓読〕佛世に在りし時、善星比丘有り

※善星比丘：かつて釈迦仏の弟子だった人。また一説に釈迦仏の実子とも言われる。四禪定を得たが、それを最高の境涯と思ひ込み涅槃の境涯を否定したので、四禪比丘とも称される。また仏に違背したので阿鼻地獄に墮したといわれる。彼の伝記は南伝と北伝とでは差異があるが、仏に違背した退転者とするのは一致している。

〔原文〕能説十二部經獲四禪果

〔訓読〕能く十二部經を説き、四禪の果を獲す

※十二分經：仏教經典を二に分類した呼び名。修多羅（契經）・祇夜（応頌）・伽陀（諷頌）・和伽羅那（授記）・優陀那（無問自説）・尼陀那（因縁）・阿波陀那（譬喩）・伊帝曰多伽（本事）・闍陀伽（本生）・毘伽略（方広・方等）・阿浮陀達磨（未曾有）・優婆提舍（論議）。初めの三つは經文の体裁から、残りの九つは内容から分けたもの。十二部經。

〔原文〕因狎邪友一向著空妄言無佛無法無有涅槃

〔訓読〕邪友に狎るるに因りて、一向に空に著し、妄りに無佛、無法、涅槃有ること無しと言ふ

〔原文〕遂生陷地獄永入阿鼻

〔訓読〕遂に生きながら地獄に陥り、永く阿鼻に入る

〔原文〕然則遠離惡友邪友

〔訓読〕然らば則ち、惡友邪友を遠離し

〔原文〕眞友善友擇而可求也乎

〔訓読〕眞友善友擇びて求むべきなり